

平成19年度の技術研修生を募集します

企画指導部 普及課

林産業界の活性化を図るためには、新製品や新技術の開発によって企業等の競争力を強めていくことが必要です。林産試験場では、道内の林産関係職場で働く方々を対象に、基本技術や応用技術、製品開発技術の能力をアップしていただくための研修制度を設けています。

平成19年度は、次のような研修を予定していますので、ご活用ください。

1 研修の種類

- 基本技術研修
- 実務技術研修
- 製品開発技術者養成研修

(1) 基本技術研修

以下の四つのテーマについて、計画された内容と期間にしたがって行う研修です。

テーマ	研修内容	研修期間
製材のこ目立て	自動目立て機の使用法、ステライト加工、ガス溶接など	H20年1/15～ 2/22(28日間)
木材の乾燥	木材と水分、木材乾燥装置、木製品の含水率管理など	H19年5/14～ 5/25(10日間) H20年3/10～ 3/24(10日間)
木材加工	木材の構造・性質、刃物の研磨と調整、集成材の評価など	H19年5/21～ 5/25(5日間)
きのこの栽培	きのこの生理、菌床培地調整、害菌対策など	H19年10/1～ 10/19(14日間)

(2) 実務技術研修

企業等の希望するテーマについて、内容と期間を相談のうえ設定し、目的の技術を修得していただく研修です。

(3) 製品開発技術者養成研修

研修生が、製品開発等に向け自らテーマを設定し、関連技術や関連手法等を修得していただく研修です。林産試験場を自社の研究開発室として使うようなものとお考えください。内容と期間については個別に検討

させていただきます。

2 参加者の資格要件

研修に参加できるのは、道内の企業、団体、大学および試験研究機関等において、林産関係業務に従事している方、あるいは従事しようとしている方、その他、林産業活性化への寄与が期待される場合など、参加が適当と認められる方です。

3 募集人数

募集人数は、基本技術研修については各テーマごとに2～3名、その他の研修については、ご希望のテーマ、内容、期間により、その都度関係科等において判断します。

4 研修にかかる費用

研修に必要な原材料、消耗品等の費用は、基本技術研修、実務技術研修については特に必要とされる場合を除き無料ですが、製品開発技術者養成研修については負担していただきます。

交通費、滞在費は申込者の負担となります。

5 応募方法・締切・問合せ

所定の様式によりお申し込みいただく必要があります。締切は、それぞれ研修開始の2週間前です。詳細については、電話または文書等でお問い合わせください。

北海道立林産試験場 企画指導部 普及課 技術係
〒071-0198 旭川市西神楽1線10号

TEL0166-75-4233 (内線368), FAX 0166-75-3621

<http://www.fpri.asahikawa.hokkaido.jp/shien/kenshu/kenshu.htm>

